



燃ゆる感動 かがしま国体
 特別国民体育大会
 燃ゆる感動 かがしま大会
 特別全国障害者スポーツ大会

熱い鼓動 風は南から 2023

選手をはじめ、競技内外でたくさんの方が活躍しました



▲かがしま大会の開会式で選手宣誓を行う久木留選手（右側）



▲かがしま国体の総会開会式で選手宣誓を行う下原選手（左側）

「私たちを支え、励まし、指導して下さったすべての方々への感謝を胸に…」
 (かがしま大会宣誓文一部抜粋)

「競技会場に響き渡る歓声が、ここ鹿児島島の地から南の風に乗って、全国へ広がるよう最後まで全力を尽くすことを誓います」
 (かがしま国体宣誓文一部抜粋)

10月7日(土)、燃ゆる感動かがしま国体の総合開会式が、28日(土)、燃ゆる感動かがしま大会 障害者スポーツ大会の開会式が、白波スタジアム(鹿児島市)で行われました。両大会とも本市在住の選手が宣誓を行い、かがしま国体の総合開会式では、ウエイトリフティング競技に出場した下原卓朗選手が、かがしま大会の開会式では、陸上競技に出場した久木留清冨選手が堂々と誓いの言葉を述べました。

堂々たる選手宣誓



鹿児島県選手団は、天皇杯・皇后杯ともに2位という素晴らしい成績で鹿児島を熱く盛り上げました。ボランティア、競技スタッフの皆さん、市民の皆さん、各県代表の選手・関係者の皆さん、かがしま国体への参加やサポート、応援など、ありがとうございました。



特別国民体育大会
 燃ゆる感動かがしま国体

10月7日(土)〜17日(火)、県内各地で特別国民体育大会「燃ゆる感動かがしま国体」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、3年延期され、昭和47年の第27回国民体育大会(太陽国体)以来、実に51年ぶり。本市では、正式競技のホッケー、バスケットボール、ウエイトリフティング、軟式野球、空手道の5競技と、6月にはデモンストレーションスポーツのパウンドテニスが開催されました。

みかさのみやあきこじょうでんか
 たかまどのみやひでんか
 三笠宮彬子女王殿下と
 高円宮妃殿下が
 お成りになりました

特別国民体育大会への御臨場と合わせて地方事情御視察のため、10月10日(火)に三笠宮彬子女王殿下が東郷公民館へ東郷文弥節人形浄瑠璃の御覧・人形操作御体験を、13日(金)に高円宮妃殿下がバスケットボール競技御覧のため、サンアリーナさんだいへお成りになりました。



▲高円宮妃殿下



▲三笠宮彬子女王殿下

